

みちのく森の楽校だより

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



クサギ

2019年 **10月号**

10月26日(土) 晴れ、大雨のあと

秋の収穫！

大きな台風に大雨！各地でたいへんな被害が出ています。心よりお見舞い申し上げます。

今日は、昨夜の雨が嘘のような快晴でした！斜面からしみ出た雨水がザアザアと道の上を流っていました。

キノコの収穫

雨が多い月でしたね。栽培しているほだ木の上に、何と、カラマツの倒木！そんな中でもキノコが出ていました。シイタケとナメコを収穫しました。



干し柿づくり！

柿の実が色づいていました。そろそろ収穫時期かな。でもこれは渋柿です。高枝切狭をつかって、柿の収穫をしました。これをひたすら皮を剥きました。大変な労力です。荒縄にひっかけて、小野分校の軒下に吊るしました。秋の風物詩ですね！



薪割りと丸太切り

これは里山の活動の基本です。冬に備えてたくさんの薪が必要になります。



次回、第8回「森の楽校」は11月23日(土)、リースづくりをします。